

アドベンチャーツーリズムモデルコース造成業務 仕様書

1 業務名

アドベンチャーツーリズムモデルコース造成業務

2 業務目的

青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村（以下「東青地域管内市町村」という。）は、すべての市町村が陸奥湾に面して帯状に連なっており、ヨガ、海釣り、SUPなどマリナクティビティも充実し、津軽海峡、陸奥湾の豊かな海で獲れた水産物や八甲田山からの良質な水で育成された農産物など豊富な食資源や、多くの温泉も存在している。

また、日本最大級の縄文集落跡である特別史跡三内丸山遺跡を始め、中世の義経北行伝説ゆかりのお寺である義経寺、松前街道、松陰道、世界へ誇る昭和の大事業の足跡を後世に伝える青函トンネル記念館など、多くの歴史ロマンが残されている。

これらの地域資源を活かし、自治体が連携の下、主として欧米の富裕層を対象とした世界で注目を集める消費額が高く、「自然」・「アクティビティ」・「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行形態である「アドベンチャーツーリズム（以下「AT」という。）」による誘客促進を図るため、地域資源を調査し、東青地域管内市町村のストーリー性を意識したATモデルコースを造成するものである。

3 業務期間

契約締結の日から令和7年3月31日まで

4 業務内容

(1) 地域資源調査

- モデルコース造成に向け、東青地域管内市町村の現状を把握すると同時に、アドベンチャーツーリズムの構成要素となり得る各市町村の地域資源調査を実施すること。

(2) マーケティング調査

- アドベンチャーツーリズムを好むターゲット層の動向や嗜好、ニーズや販売ルートに関するデータを収集・分析・整理すること。

(3) モデルコース造成意見交換会の開催

- モデルコースの造成に当たり最低1回、意見交換会を開催すること。
- 意見交換会の構成員は、本市と協議の上、アドベンチャーツーリズムに造詣が深い有識者や東青地域管内市町村、関係者等とすること。
- (1) や (2) で収集した情報をもとにモデルコース造成における方向性や方針等に対する意見を聴取すること。

(4) モデルコース造成

- 東青地域管内市町村において、アドベンチャーツーリズムを軸とし、エリアを周遊するモデルコースを造成すること。
- モデルコース造成においては、(1)～(3)で収集した情報や意見をもとに、東青地域管内市町村の地域資源及び既存コンテンツを有効活用すること。
- モデルコースはストーリー性や対象ターゲットの異なるものを2コース程度造成すること。

(5) 業務報告書の作成

- ・実施した事業の内容について、評価・考察（成果のまとめ、課題、解決策、今後の展開等）を盛り込んだ業務報告書を作成すること。
- ・業務報告書は、ワード・エクセル・パワーポイント形式など、本市が2次利用可能な形式にて作成すること。
- ・業務報告書は日本産業規格A4判（簡易製本、カラー）で2部作成するとともに、電子データ（CD、DVD、USBなど）でも作成すること。

5 その他

- (1) 業務の実施に当たっては、本市と連絡調整を十分に図ること。
- (2) その他、業務の目的を達成するために効果的と思われる事項を行うこととし、当仕様書に定めのない事項に関して疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議し、発注者の意向を十分に理解、尊重したうえで業務を遂行するものであること。